

忠臣蔵 櫻花の巻・菊花の巻 (1959)

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 Color
時間 183分
初公開日 1959/01/15

【解説】

各社が競って製作した忠臣蔵を、東映が総力を結集して映画化。「若さま侍捕物帖 紅鶴屋敷」でコンビを組んだ比佐芳武が脚本を書き松田定次が監督した。片岡千恵蔵、中村錦之助、大河内伝次郎、市川右太衛門など東映のオールスターが登場。三時間を超える長尺のため二部構成となっている。

「櫻花の巻」――元禄十四年の春、朝廷からの勅使と院使の接待役を仰せつかった赤穂藩主浅野内匠頭は、指南役の吉良上野介に意地の悪い仕打ちを受け続けた。様々な無理難題を家臣の機転により切り抜けるが、松の廊下ですれ違いざまに愚弄されたことに腹を立て、ついに刃傷沙汰を起こし自身は切腹、お家は断絶となってしまう。「菊花の巻」――浅野内匠頭の家臣だった大石内蔵助は放蕩三昧の生活を続けており、同志の中には大石のもとを離れていく者もあった。だが願い出ていたお家再興の望みも絶たれた今、大石は妻と子供に別れを告げ、主君の仇討ちを決意するのだった。

【クレジット】

監督 松田定次
製作 大川博
企画 坪井与
辻野公晴
玉木潤一郎
坂巻辰男
脚本 比佐芳武
撮影 川崎新太郎
美術 鈴木孝俊
編集 宮本信太郎
音楽 深井史郎
出演 片岡千恵蔵 大石内蔵助
中村錦之助 浅野内匠頭
長谷川裕見子 戸田の局
千原しのぶ お幸
丘さとみ 糸路
大川恵子 内匠頭夫人
桜町弘子 おかる
花園ひろみ 初音太夫
高島淳子 主水
円山栄子 玉乃
雪代敬子 青柳太夫
喜多川千鶴 小桜太夫

星美智子	浦路
花柳小菊	白菊太夫
木暮実千代	りく
東千代之介	岡島八十右衛門
宇佐美淳也	原惣右衛門
原健策	片岡源五右衛門
加賀邦男	三村次郎左衛門
澤村宗之助	小野寺十内
小柴幹治	横川勘平
片岡栄二郎	菅野三平
徳大寺伸	赤埴源蔵
松浦築枝	おとわ
星十郎	清吉
杉狂児	久兵衛
堺駿二	長吉
榎本健一	多右衛門
美空ひばり	おたか
中村賀津雄	上杉綱憲
尾上鯉之助	早水藤左衛門
南郷京之助	前原伊助
沢村精四郎	矢頭右門七
植木千恵	お空
植木基晴	大三郎
北大路欣也	大石主税
里見浩太郎	綱吉
大川橋蔵	岡野金右衛門
山村聡	So Yamamura 千坂兵部
市川小太夫	土屋相模守
阿部九州男	梶川与三兵衛
三島雅夫	柳沢吉保
加藤嘉	荘田下総守
清川荘司	清水一学
吉田義夫	鈴木元右衛門
石井一雄	田村右京太夫
岡譲司	小林平八郎
柳永二郎	大野九郎兵衛
小沢栄太郎	多門伝八郎
大河内伝次郎	吉田忠左衛門
薄田研二	堀部弥兵衛
山形勲	不破数右衛門
進藤英太郎	吉良上野介
月形龍之介	橋本平左衛門
大友柳太朗	堀部安兵衛
市川右太衛門	脇坂淡路守